

1971年

8月号

第197号

毎月1回 15日発行

昭和46年8月15日発行

(昭和44年6月9日)

(定価1部5円)

発行所

石岡市役所

石岡市大字石岡408番地
電話(代表) (3) 1111番
郵便番号 315

発行人 高木不二男
編集総務部



花づくり婦人学級

お母さんの手は泥だらけ

わたくしたちの手でまちじゅうに美しい花を咲かせようと、お母さんたちが毎月一回石岡一高の園芸実験室と温室を借りて、草花の栽培にいそしんでいます。

これは、市の教育委員会がお母さんたちに花をつくる楽しさを味わってもらうとともに、花いっぱい運動はます家庭のなかからということではじめた「花づくり婦人学級」に参加しているお母さんたちです。

学級生は四十八人で、石岡一高教諭の桜井徳郎先生の指導のもとで熱心に講義を受けたり、手を泥だらけにして実習指導を受けています。

「草花の栽培は、思ったよりもむずかしいのですネ」とは、参加しているお母さんたちの弁。

指導をお願いしている桜井先生は「草花をじょうずに栽培するコツは、自分の子どもを育していくように、愛情をもつて栽培することですネ」と話しています。

ところで、五月からはじめたこの花づくり婦人学級は、来年の三月まで一応終了するわけですが、この学級に参加したお母さんたちは、地域婦人会活動のなかで、花づくりの指導者として活躍していくことになっています。

第二回定例市議会

国保条例の一部改正 など十三議案を審議

円、民生費四万九千円、衛生費五十三万二千円、土木費四万九千円が計上されています。

一、一世帯当りの課税限度額が五万円から八万円に引上げられました。

た金額をこえない世帯に対する保険税の減税額が被保險者一人について三百六十円(改正前二百八十円)に

一世帯について六百八十円(改正前五百六十円)になりました。

会計の補正予算

こんど補正された四百五十二万五千円を加えて、四十六年度の予算総額は二億六千七百三十四万円となりました。

国保条例の一部改正

これは地方税法の一部改正に伴うもので改正された主な点は次のとおりです。

②前年所得が十四万円(市民税の基礎控除額)をこえない世帯に対する保険税の減税額が被保險者一人について五百四十円(改正前四百二十円)に、一世帯について千二十円(改正前八百四十円)になりました。

改正前六万五千円)を加え

農業近代化施設整備組合の石岡地区農業近代化施設整備組合の事務所を十月一日から營農修セントラルへ移転することにしたものです。

規約の一部改正

これは、現在農協会館に於ける石岡地区農業近代化施設整備組合の事務所を十月一日から營農修セントラルへ移転することにしたものです。

審議されたその他の議案

一、昭和四十五年度度越明許費繰越計算書について

二、昭和四十五年度財團法人石岡市開発公社事業報告について

三、専決処分(昭和四十六年度石岡市一般会計補正予算)

四、交通事故に起因する損害賠償請求事件の和解について

隣接町村と救急業務の委託に関する規約とりきめ

経費は地元町村で負担

隣接町村で急病人や交通事故による負傷者がでた場合、市が無償で救急業務を受け行なっていましたが、この議会で美野里町、千代田

村、玉里村の三町村と救急業務の委託に関する規約をとり

きめたことにより、救急業務に要した費用は地元町村で負

担していただることになりました。

ちなみに、昨年一年間の救急車出動件数を調べてみます

す。

は協定書によってきめられま

した。

費用の負担額などについて

助役

富田勝雄氏(石川)

昭和四十六年市議会第一回定例会は六月三十日から七月二十七日までの二十八

日間

にわたって開かれました。

この議会では、昭和四十六年度一般会計補正予算や国保条例の一部改正など十

三議案(報告二件を含む)

が可決されました。なお、空席となっていた助役、取

入役を選任する人事案件も議会の同意を得てきました。

こんど追加された補正予算

は一千六十二万五千円で、四十六年度一般会計の歳入歳

出予算総額は十三億三千五百

五十五万五千円となりました

と、歳入は県支出金百二十

七万九千円、繰越金千三百四

土地改良事業調査負担金二十

万六千円となっています。

職手当組合特別負担金三百六

十七万五千円、市民税や固定

資産税などの計算センターコ

ミット

料二十五万円、山王川流域圃場整備事業設計

六十二万四千円、農林業費が

三千四万四千円、懲罰川左岸

トレー ning コース新設費と

して六十万円、花とこうき県

二万五千円など百三十九万八

千円、教育費が城南中の交通

トレー ning コース新設費と

として五十万円、懲罰川サイ

として五十万円、花とこうき県

民運動関係費として五十四万

円、文化財一里塚整備事業費

として五十万円、懲罰川サイ

として五十万円、花とこうき県

会員負担金八十七万円など三百

円、文化財一里塚整備事業費

として五十万円、懲罰川サイ

として五十万円、花と

土浦、石岡を中心とする2市4町4カ村

近く広域市町村圏に指定

財政上の優遇措置



土浦、石岡を中心とした八郷町、阿見町、小川町、美里町、出島村、千代田村、新治村、玉里村の地域が、このほど国から広域市町村圏として指定の内示を受けました。すでに県内では、四十四年に下館地方、四十五年に茨城西南地方、大宮、大子地方の二ヵ所が指定を受け事業を進めおり、こんど指定（内示）された土浦、石岡地方、水戸地方、鹿行地方、常総地方を含め、茨城県内の広域市町村圏域は七ヵ所になります。

広域市町村圏のねらい
住民の日常生活に必要な行政サービスの提供を任務とする市町村では、早急に公共施設を整備する必要にせまられています。

いくためには、多額の事業費を必要とし、各市町村とも頭を痛めているのが現状です。そこで、広域市町村圏は、このよくな市町村の当面して整備し、住民サービスの向上

を図ることをそのねらいとしています。

広域市町村圏の骨組み
右図のよう広域市町村圏の指定を受けますと、圏域内の市町村で協議会をつくり、総合的な振興整備について計画をたて、その計画にもとづいて事業を進めていくことになります。

事業計画の作成

広域市町村圏の事業計画を作成する場合は、圏域内の市町村でつくる協議会のなかで市町村間の道路整備をどうするかということや清掃事業など、広域的に処理しなければならないものを最も効率的に処理していくためにはどうすればよいかなど、関係市町村で話し合ってきめていくことになっています。

広域市町村圏の事業計画を作成する場合、一圏域あたり平均二千万円の補助があります。三、そのほかに地方交付税の特別措置や地方債の許可について優遇措置があります。

均衡のとれた行政

以上のように、広域市町村圏に指定されると、その圏域内の市町村では、よりよい住民サービスをしてい

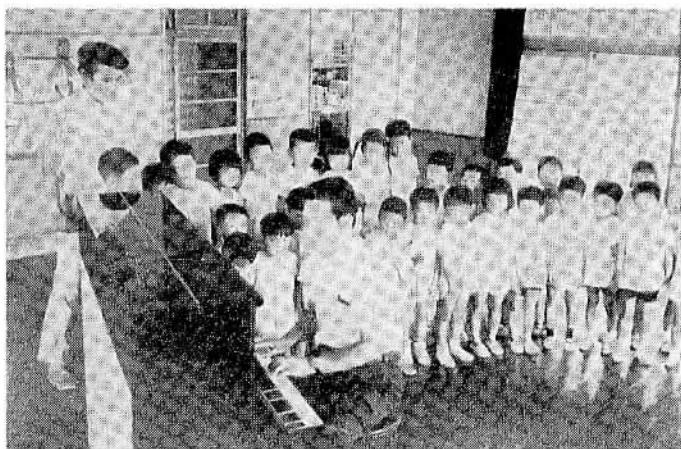
くためには、それぞれの市や町村が一体となって公共施設の整備、すなわち、道路の整備、上下水道の整備、ゴミ処理施設の整備などを市町村の行政区画をこえて行なっていくことになります。したがって、これまで隣り合った市町村の住民が同じ道路に面していて、A市では舗装され、B町では舗装されないといったケースがおこりがちでしたが、こんどの広域市町村圏の指定（内示）により圏域内の市町村では、均衡のとれた住民サービスが行なわれていくものと思われます。

同意書を自治省へ提出

土浦・石岡地方広域行政協議会（会長箱根宏）では、広域市町村圏指定の内示にもとづき、これを正式に受け取るとともに、県を通じ自治省へ提出、近く正式に指定されることがあります。

これに伴い、さる八月六日石岡市民会館で幹事会を開きました。

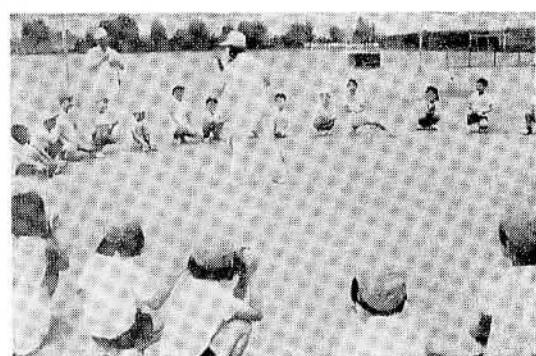
この結果、事務局のある土浦市に各関係市町村から職員を派遣し、広域圏の基本構想基本計画、実施計画などを策定するよう近く本協議会にはかり決定することになりました。



第2保育所の歌誕生

みどりのそよ風　まどの風　みんなのほっぺにこんにちは……と、毎日市立保育所からかわいらしい歌声が聞えてきます。

この歌は市役所厚生部勤務の真島正さん^婦が作詞、総務部勤務の岡田佳久さん^夫が作曲してプレゼントしたもので、園児たちは大喜びです。(岡田さん(右)と真島さん(左)を囲んで喜びの園児たち)



子ども会キヤラバンク来市

さる七月二十九日、府中中学校へ茨城県子ども会キヤラバンが訪れました。これは、県内各地を回つて子どもたちに楽しいゲームや歌などを指導したりして、

子ども会開催したとして、子ども会活動をより活発化しようとするもの

と/orするもの
でこの日は府中地区の子ども会員など、およそ三百五十名が参加し有意義な一日をすごしました。

季節の話題

八月のこと、和名では「はつき」といいます。

日本書紀にこの呼び名が出てきていました。すから、すいぶん古くから使われていたようですが、その由來として次の二つがあげられます。

(一)八月(新暦では九月)になると、そろそろ木の葉が落ちる、つまり葉落月といわれるようになった。曰八月になると、雁がはじめて飛来するということから初来月と呼ばれ、これからがつまつて「はつき」とな

石岡小Aチームが優勝

自転車の安全な乗り方コンテスト石岡地区大会

自転車の安全な乗り方コンテスト石岡地区大会がさる七月十三日、東小学校の校庭で行なわれました。この地区大会には、石岡警察署管内の六市町村から十四チームが参加、実技試験と標識試験を行なった結果、石岡小Aチームが優勝しました。

石岡地区大会の成績は次のとおりです。

①石小Aチーム、②石小Bチーム、③東小チーム

人事異動

市では、八月一日付で次の

とおり人事異動を行ないまし

た。(係長以上、カッコ内は

旧職名)

自転車の安全な乗り方コンテスト石岡地区大会

川島虎藏▽都市計画課長(開

発事務所次長)沼田米蔵▽監

理課長(監理課長兼都市計画

課長)久松貢四郎▽湖北環境

衛生組合事務局長心得(企画

課長)皆藤恒雄▽主査秘書係

主査)皆藤恒雄▽主査秘書係

今月の納税

市 県 民 稅 2 期

納期限は8月31日限りです

市民会館では、九月の自主事業として、はしだのりひととクライマックスショーを次により行ないます。

市民会館自主事業 はしだのりひこと クライマックスショー

お知らせ



百日咳・ジフテリア・ 破傷風 予防接種

接種を除かれるもの
一、有熱患者、心臓

あるもの、糖尿病、脚氣等の疾患者、その他医師が不適症

第一期昭和四十五年十二月
一日と昭和四十六年五月
三十一日まで出生のもの
第二期昭和四十四年七月一
日と昭和四十四年十二月
三十一日まで出生のもの

二、アレルギー体质者または
ケイレン性体质者、胸腺リ
ンパ体質のもの

実施日程（第2期の方は下記の内1回のみ実施）

地区名	実施場所	日時		
		第1回	第2回	第3回
関川地区	関川公民館	9月8日 後1.30～2.30	10月4日 後1.30～2.30	10月25日 後1.30～2.30
三村地区	三村公民館	9月9日 後1.30～2.30	10月5日 後1.30～2.30	10月26日 後1.30～2.30
高浜地区	高浜公民館	9月10日 後1.30～2.30	10月6日 後1.30～2.30	10月27日 後1.30～2.30
六号国道東の 旧石岡地区及び 東大橋、小井戸	石岡幼稚園	9月13日 後1.30～2.3	10月7日 後1.30～2.30	10月28日 後1.30～2.30
上記以外の 旧石岡地区	市民会館	9月17日 後1.00～3.00	10月8日 後1.00～3.00	10月29日 後1.00～3.00

江 意

1. 母子手帳をご持参ください。時間は厳守してください。
 2. 予防接種会場に掛ける前に必ず体温を計ってください。

人事明暗

六月屆出

出生五八名
死亡二六名

四

六月届出		出生 五六名		死亡 二六名		△出生		若松	
守 檜	守 檜	山主 菊	山主 菊	大 小 道	大 小 道	泉	泉	木 调 章	木 调 章
森 山 良 太 郎	森 山 良 太 郎	藤 田	藤 田	菊 地	菊 地	分 木	分 木	山 本	山 本
根 本 正 雄	根 本 正 雄	佐 久 间	佐 久 间	菊 地	菊 地	冷 水	冷 水	青 木	青 木
饭 岛 年 雄	饭 岛 年 雄	上 野	上 野	石 井	石 井	长 峰	长 峰	塙 原	塙 原
長 女	長 女	本 多	本 多	川 井	川 井	打 田	打 田	額 賀	額 賀
真 由 美 子	真 由 美 子	佐 久 间	佐 久 间	三 喜 雛	三 喜 雛	丈 夫	丈 夫	勝 彦	勝 彦
▼死 亡	▼死 亡	康 男	康 男	克 行	克 行	東 峰	東 峰	松 男	松 男
鈴 木 劳 助	鈴 木 劳 助	正 雄	正 雄	木 村	木 村	高 峰	高 峰	信 義	信 義
中 根 織 之 助	中 根 織 之 助	年 雄	年 雄	誠 司	誠 司	廣 谷	廣 谷	長 安	長 安
清 水 よ つ	清 水 よ つ	長 男	長 男	友 司	友 司	岡 田	岡 田	忠 房	忠 房
大 島 シ マ	大 島 シ マ	正 雄	正 雄	加 代 子	加 代 子	久 一	久 一	安 政	安 政
木 劳 助	木 劳 助	千 賀 子	千 賀 子	清 信	清 信	久 仁 子	久 仁 子	美 佐 子	美 佐 子
元 寶 地	元 寶 地	良 律	良 律	之 子	之 子	竹 夫	竹 夫	光 一	光 一
幸 幸	幸 幸	和 正	和 正	司	司	久 保 田	久 保 田	久 夫	久 夫
浩 子	浩 子	直 千	直 千	一 生	一 生	耕 作	耕 作	猛 二 女	猛 二 女
子	子	信 千	信 千	裕 友	裕 友	比 気	比 気	孝 一 長 女	孝 一 長 女
		信 千	信 千	加 代 子	加 代 子	田 嶺	田 嶺	一 長 女	一 長 女
		之	之	勝 久	勝 久	廣 谷	廣 谷	也 也	也
		信 之	信 之	友 司	友 司	高 斧	高 斧	也 也	也
		之	之	加 代 子	加 代 子	岡 田	岡 田	也 也	也
				一 生	一 生	久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也
						耕 作	耕 作	也 也	也
						比 気	比 気	也 也	也
						田 嶺	田 嶺	也 也	也
						廣 谷	廣 谷	也 也	也
						高 斧	高 斧	也 也	也
						岡 田	岡 田	也 也	也
						久 保 田	久 保 田	也 也	也

人口与世带

(8月1日現在) 前月比

世帯数	10,296世帯	10世帯増
人口	男 19,805人	45人増
	女 20,923人	2人減
	計 40,728人	43人増